

令和7年度 第2回江南市上下水道事業経営審議会 議事要旨

会議名	令和7年度 第2回江南市上下水道事業経営審議会
開催日時	令和8年2月9日（月） 午後3時から 午後4時15分まで
場所	江南市防災センター 3階 仮眠待機室・救護室
委員	出席委員9名 横山 幸司（学識経験者） 大曾根 数馬（団体代表） 沢田 光功（団体代表） 古田 みちよ（団体代表） 南村 朋幸（団体代表） 尾関 昭（市議会議員） 須賀 博昭（市議会議員） 安藤 晴通（公募市民） 大池 夏子（公募市民）
事務局	9名 （水道部） 茶原（水道部 部長） （水道課） 中村（水道課 課長） 青山（水道課 主幹） 鈴木（水道課 経営・業務グループリーダー） 野呂（水道課 経営・業務グループ） （下水道課） 小池（下水道課 課長） 今枝（下水道課 主幹） 間宮（下水道課 経営・業務グループリーダー） 平山（下水道課 経営・業務グループ）
傍聴人数	0名
資料	・次第 ・資料1：令和8年度江南市水道事業会計当初予算（案）の概要 ・資料2：令和8年度江南市下水道事業会計当初予算（案）の概要

1. 開会 水道部長あいさつ

2. 議題

(1) 令和8年度水道事業会計当初予算（案）の概要について

事務局 資料1「令和8年度江南市水道事業会計当初予算（案）の概要」を用いて説明した。

委員 主な事業について、配水管布設・改良事業の特定財源のその他に85,000千円計上されているが、その他の具体的な中身を教えてほしい。また、物価が高騰しているが、管路の更新、改良工事は事業量を固定するのか、事業費を固定するのか。

事務局 水道利用者から徴収する施設分担金で、過去3年間の平均値である。また、配水布設管・改良工事は事業費を固定、基幹管路更新工事は事業量を固定していく予定ではあるが、社会情勢に応じて臨機応変に考えていく。

委員 水道管や下水道管が老朽化しているかどうか、どのように分かるのか。

事務局 道路を掘って、中の水道管を直接確認する形ではないが、水道管の耐用年数を参考に更新計画をたて、水道管が老朽化してしまう前に更新工事をするようにしている。

事務局 下水道管は、平成14年の供用開始からまだ20年程度しか経過しておらず、法定耐用年数である50年にはまだ達していない。今後は、水道事業と同様に更新計画をたて、計画に基づき更新していく必要があると考えている。

(2) 令和8年度下水道事業会計当初予算（案）の概要について

事務局 資料2「令和8年度江南市下水道事業会計当初予算（案）の概要」を用いて説明した。

委員 令和8年度の消費税及び地方消費税還付金が令和7年度に比べ大きく減っている理由は。

事務局 下水道事業において、課税収入額よりも課税支出額が多ければ、消費税申告時に還付となることで現金収入が発生する。県立古知野高等学校雨水貯留施設整備工事が令和7年度に概ね完了することで、令和8年度の工事請負費が大きく減額となっていることから、消費税及び地方消費税還付金が大きく減ることとなる。

- 委員 消費税申告は、下水道事業のような企業会計の場合には必要となるが、一般会計では必要となるのか。
- 事務局 一般会計は対象外のため不要である。
- 委員 企業債借入額は、水道事業では毎年度定額となっている。下水道事業でも定額にできないのか。
- 事務局 下水道事業は、多額の財源を一般会計から繰り入れることで事業実施が可能となる性質である。財政状況が厳しい本市では、単年度の一般会計繰入額を削減する必要があるため、財政部局との協議により、下水道事業では起債対象事業費は全額借り入れる方針としている。
- 委員 水道事業では毎年度定額となっている理由は。
- 事務局 過去の検討で、基幹管路更新工事費の1/2程度を目安とし、現状では1.5億円の企業債を定額として計上することとしている。金利が上昇している現在の状況を踏まえる必要もあるが、耐用年数や将来世代の受益も考慮し、企業債を借り入れる方針としている。
- 委員 今後の雨水貯留施設の整備予定を教えてください。
- 事務局 企業会計で実施する雨水貯留施設整備工事は、古知野高校について令和7年度に概ね完了した後は、当面整備予定はない。一方、一般会計では、今後、古知野西小学校や古知野南小学校についての整備を進めていく予定である。
- 委員 雨水貯留施設について、古知野高校を企業会計、古知野西小学校、古知野南小学校を一般会計で整備する理由はなにか。
- 事務局 各工事の整備予定時期と国の補助メニューを照らし合わせた結果、国庫補助金を最大限確保できるよう、企業会計、一般会計それぞれで工事を実施することとしている。
- 委員 出資金の額が令和7年度に比べ令和8年度は減っている。一般企業ではあまり増減しない性質の財源だと思うが、なぜ減っているのか。
- 事務局 下水道事業では、建設改良費の4分の1を一般会計から繰り入れており、令和7年度に比べ令和8年度の建設改良費が大きく減少したため、出資金についても減額となっている。

3. その他 今後の予定について  
事務局 今後の審議会の日程について説明した。

4. 閉会